

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書（令和3年度分）

津久見市教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、平成20年4月1日から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

津久見市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、第5次津久見市総合計画（2021年改訂版）に掲げた教育委員会関係の施策について、目標数値や実績を示しながら毎年、津久見市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を実施しています。今回、前年度分の点検及び評価の結果のほか教育委員会の会議の開催などを報告書としてまとめ、公表するものであります。

本報告書により、津久見市教育委員会の事務・事業に対しまして一層のご理解を深めていただくとともに、本市の将来を担う「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

津久見市教育委員会

目 次

I	点検・評価にあたって		
1	津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針	・・・	2
2	点検及び評価報告書の作成	・・・	3
3	教育委員会の組織	・・・	3～ 4
4	教育委員会の開催状況	・・・	4～ 5
5	学校訪問	・・・	5
6	活動実績	・・・	5
7	総合教育会議の開催	・・・	5
II	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価		
1	施策の体系	・・・	6
2	施策の方向	・・・	7
3	各施策の点検及び評価	・・・	8～30
	(1) 学校教育の充実		
	(2) 社会教育の充実		
	(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	(4) 青少年の健全育成		
	(5) 地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		

I 点検・評価にあたって

1 津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、津久見市教育委員会が実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、次のとおり行うものとする。

(1) 評価の時期・対象

毎年度、教育委員会が前年度に実施した事務事業において、下記(2)の①及び②の項目について点検・評価を行う。

(2) 点検・評価の項目

① 津久見市総合計画における教育委員会所管項目の「施策」について点検・評価を行う。

ア テーマ毎に「施策の方向」を設け、「計画内容及び主要な施策」ごとに当該年度の具体的な実施状況を点検・評価する。

イ 当該年度の進捗状況を目標値と比較し、AからEまでランクを付けて評価を行う。

② その他、教育施策上の重要課題

(3) 点検・評価の指標

点検・評価を行うに当たっては、津久見市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会委員による同意見交換会の知見を活用するものとする。

(4) 点検・評価のスケジュール

- ・2月 当該年度事務のマネージメントシートを更新（自己点検・評価）
- ・3月 市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会による点検・評価
- ・6月～7月 報告書の作成
- ・8月 教育委員会定例会で報告書を決定（議決）
- ・9月 市議会に報告、公表

(5) 市議会への報告、公表について

① 市議会への報告

教育委員会が決定した点検・評価の報告書は、市議会に提出するものとする。

② 公表の方法

点検・評価結果の報告書は、市議会に提出した後、教育委員会のホームページで公表する。

(6) 点検・評価結果の反映

点検・評価結果については、教育行政に適切に反映させ、教育行政の運営の効率化及び質の向上を図るものとする。

(7) その他

点検・評価の項目、報告書の様式、市議会への提出（報告）の方法等については、各教育委員会が実情を踏まえて決めることになっているため、市議会や委員会、市の意見を参考にしながら随時改善していくこととする。

2 点検及び評価報告書の作成

「第5次津久見市総合計画（2021年改訂版）」（令和3年度～令和7年度）に掲げる基本計画第2章「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」第1節学校教育の充実、第2節社会教育の充実、第3節スポーツ・レクリエーション活動の推進、第4節青少年の健全育成、第5節地域文化の伝承と芸術文化活動の充実にかかる事務事業ごとに、令和3年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施する。

(1) 記入方法

- ① 施策名・・・総合計画の「施策名」を記入する。
- ② 施策の方向・・・総合計画の「施策の方向」を記入する。
- ③ 計画内容及び主要な施策・・・総合計画の「計画内容及び主要な施策」を記入する。
- ④ 課題等・・・昨年度から引き続き課題等となっているものを記入する。
- ⑤ 取組状況等・・・実際に行った取組状況等を記入する。

(2) 施策指標の評価

目標値に対する進ちよく状況の「評価」を次の区分により記入する。

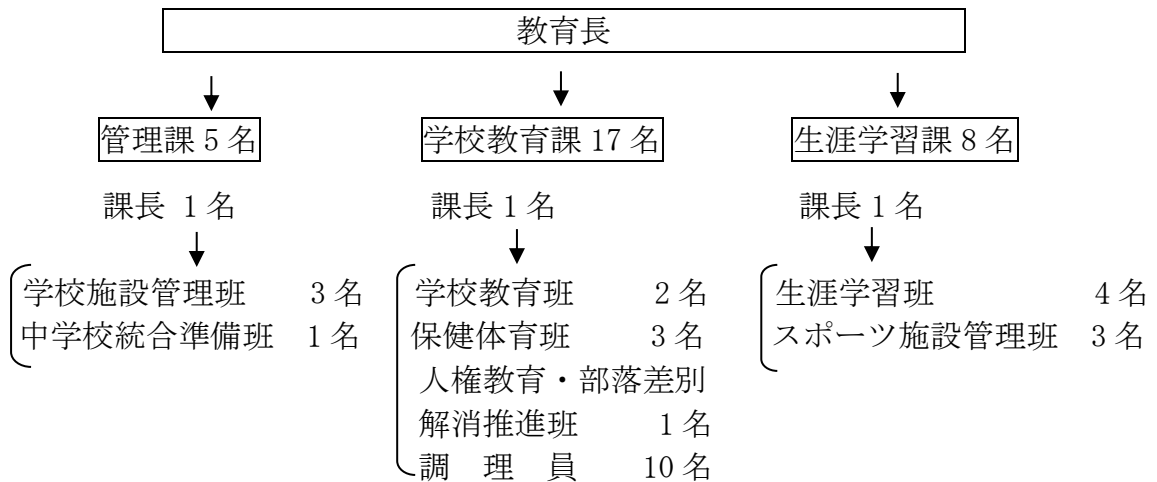
- A：目標値に達成した（100%）
- B：概ね目標値に達成した（100%未満～75%以上）
- C：目標値に達成してない部分がある（75%未満～50%以上）
- D：ほぼ目標値に達成してない（50%未満～25%以上）
- E：全く目標値に達成してない（25%未満）

3 教育委員会の組織

(1) 教育委員会委員

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	平山正雄	平成25年11月9日	令和2年11月9日 ～令和5年11月8日
教育長 職務代理	金田貞喜	平成27年10月1日	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日
委員	佐藤裕子	平成28年12月7日	令和2年12月7日 ～令和6年12月6日
委員	深井辰海	平成30年10月1日	平成30年10月1日 ～令和4年9月30日
委員	田島岳自	令和2年12月7日	令和2年12月7日 ～令和6年12月6日

(2) 教育委員会事務局の組織



4 教育委員会の開催状況

期 日	議 案 等
4月26日 (定例会)	議案第1号 津久見市修学旅行キャンセル料補助金交付要綱について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
5月26日 (定例会)	議案第2号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
6月25日 (定例会)	議案第3号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第4号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第5号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
7月26日 (定例会)	継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
8月25日 (定例会)	議案第6号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
9月27日 (定例会)	継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
10月25日 (定例会)	議案第7号 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に係る保護者負担に関する要綱について 議案第8号 学校給食見直しプロジェクトチーム設置要綱について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
11月25日 (定例会)	議案第9号 津久見市学校管理規則の一部改正について 議案第10号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
12月27日 (定例会)	継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
1月7日 (臨時)	生徒指導について

1月24日 (定例会)	議案第11号 津久見市新設中学校「校名」(案)の決定について 議案第12号 津久見市立学校条例の一部改正について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
2月16日 (臨時)	議案第13号 職員の懲戒処分について
2月25日 (定例会)	議案第14号 令和4年度当初予算(案)の概要について 議案第15号 津久見市指定文化財の指定について 議案第16号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第17号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第18号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第19号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第20号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第21号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
3月4日 (臨時)	議案第22号 令和4年度津久見市小中学校教職員の配置について
3月25日 (定例会)	議案第23号 津久見市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第24号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第25号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議

5 学校訪問

期 日	訪 問 先	出席委員
5月10日	第一中学校、第二中学校、	金田委員、佐藤委員 深井委員、田島委員
5月14日	堅徳小学校、青江小学校	
5月18日	千怒小学校、津久見小学校、学校支援センター	

※保戸島小中学校は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

6 活動実績

期 日	行 事 等	出席委員
5月25日	大分県市町村教育委員会連合会総会(竹田市)	中止
8月14日	津久見市成人式	金田委員、佐藤委員 深井委員、田島委員
1月9日	津久見市成人式	金田委員、佐藤委員 深井委員、田島委員

7 総合教育会議の開催

期 日	協 議 事 項	開催場所
10月13日	1. 第2期津久見市教育大綱について 2. 通学路の安全対策について 3. 学力向上について	津久見市教育委員会 2階会議室

出席者：市長、教育長、教育委員4名

II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

1 施策の体系

施策名	計画内容及び主要な施策	施策指標	担当課	シートNo.
学校教育の 充実	確かな学力を育む教育の 推進	全国学力調査平均正答率との差 (中学校3年生国語)	学校教育課	1-1-①
		全国学力調査平均正答率との差 (中学校3年生数学)	学校教育課	1-1-②
	健やかな体を育む教育の 推進	体力・運動能力調査 小学生 全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-①
		体力・運動能力調査 中学生 全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-②
	豊かな心を育む教育の推 進	人権・部落差別解消に係る研修会の 開催回数	学校教育課	1-3-①
	地域とともにある学校づ くり	学校・家庭・地域の「協働」に取り 組む学校数	学校教育課	1-4-①
		津久見高校との連携強化による市内 からの進学率	学校教育課	1-4-②
	教育環境の整備	学校施設の計画的整備	管理課	1-5-①
		I C T (情報通信技術) 支援員 の派遣	管理課	1-5-②
	社会教育の 充実	学習機会の創出	公民館利用状況	生涯学習課
公民館教室数			生涯学習課	2-1-②
市民に愛される図書館づ くり		蔵書貸出人数	生涯学習課	2-2-①
学術交流活動の推進		地質資源の講演回数	生涯学習課	2-3-①
スポーツ・ レクリエー ション活動 の推進	生涯スポーツ・レクリエ ーションの推進	総合型地域スポーツクラブ参加人数	生涯学習課	3-1-①
	競技スポーツの強化推進	施設利用件数	生涯学習課	3-2-①
青少年の健 全育成	健全な家庭環境づくり	非行少年等の補導件数	生涯学習課	4-1-①
	学校教育と連携した地域 ぐるみの育成活動	子ども連絡所設置箇所数	生涯学習課	4-2-①
		土曜寺子屋つくみ塾参加人数	生涯学習課	4-2-②
青少年の見守り活動の充 実	あいさつ運動の実施回数	生涯学習課	4-2-③	
地域文化の 伝承と芸術 文化活動の 充実	市民の文化・芸術活動の 支援	観劇会イベント参加者数	生涯学習課	5-1-①
		市民会館利用状況	生涯学習課	5-1-②
	伝統文化及び文化財の保 存と継承	文化団体数	生涯学習課	5-2-①
	文化施設の有効活用	指定文化財	生涯学習課	5-3-①

2 施策の方向

施 策 名	施策の方向
学校教育の充実	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めるために、学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>さらに、「特色・魅力・活力ある学校づくり」に向けた第一中学校と第二中学校の統合を進めます。また、老朽化が進む学校施設については計画的な長寿命化を図り、安全で快適な教育環境の整備に努めます。</p>
社会教育の充実	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホール企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また、地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>
スポーツ・レクリエーション活動の推進	<p>市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。</p> <p>競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。</p>
青少年の健全育成	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>
地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p> <p>文化財については、今まで以上に保護・保存に努めるとともに、新たな文化財の掘り起こしを行っていきます。</p>

1 各施策の点検及び評価

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	確かな学力を育む教育の推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生国語）	+0.6%	%	%	%	%	0.0% 以上
評価	A					
【説明等】 令和3年度は、2年ぶりの調査となった。全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童整頓への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。						

2. 課題等（令和3年度 各校学力向上プラン 振り返りより）

- 国語の「漢字を書く」については他の項目と比べると正答率が低いので補充が必要である。
- 問題設定のねらいと問われていることを読み取る力を高める必要がある。
- 複数の資料等をつなげて考える力、考えた内容を文章で表現する力を高める必要がある。
- 自分の考えをもったり、お互いの考えを比べたりする生徒が多くなったが、それを自分の言葉で発表したり、書いたりできるようにすることが課題である。

全国学力調査平均正答率との差 (小学校6年生国語) 単位 (%)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	-0.8	未実施	+4.3	+5.0

- 小学校6年生においては、津久見小学校で取り組んでいる教科担任制の成果も上がり、正答率も伸びてきている。
- 各校ともに個別指導や少人数指導に取り組み、低学力層の児童への指導に重点を置いた成果であると考えられる。
- 国語の「書く」領域や「話す・聞く」の領域を苦手にする児童が多く、教科によっては専門的な言語を使ったり、相手を意識して話したりすることはまだ苦手な子がいる。

3. 取組状況等

- 学力向上プロジェクト教員等を中心とした、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり。
- 授業改善の5点セット等のツール等を活用し、本年度実施してきた教育活動と効果について検証し、課題を明確にして次年度に向けた各種プランを作成する。
- 「書く」「話す・聞く」の領域の力を育成する。
- 市独自の学力調査の実施（小1～中2）

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	確かな学力を育む教育の推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生数学）	-0.2%	%	%	%	%	0.0% 以上
評価	C					
【説明等】 令和3年度は、2年ぶりの調査となった。全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童整理への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。						

2. 課題等（令和2年度 各校学力向上プラン 振り返りより）

- 基礎的な知識や技能の定着度を高める必要がある。
- 問題設定のねらいと問われていることを読み取る力を高める必要がある。
- 家庭学習の習慣化ができていなかったり、取組が不十分だったりする生徒が多く、基礎基本的な知識や技能の定着に課題が残る生徒が多い。
- 既習の知識と知識の結びつけができていないため、課題を解決するためにどうすればよいかという見通しをもつことが苦手である。

全国学力調査平均正答率との差 (小学校6年生算数) 単位 (%)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	-2.6	未実施	+2.8	+8.5

- 国語と同様に、津久見小学校で取り組んでいる教科担任制や各校の個別指導や少人数指導の成果が十分に表れていると考えられる。
- 主体的・対話的な学びや新大分スタンダードも定着してきて、児童が自分たちで学びを進める習慣もついてきている。
- 基礎基本の力を定着させている子が増えてきている一方で、活用力に課題が残る。課題解決の楽しさを味わいながら思考力を育てていく授業改善に取り組む必要がある。

3. 取組状況等

- 活用力の向上を目指し、各教科で論理的な記述や発表・意見交換等の言語活動の場を設定する。
- 校内研究を核とした「生徒による授業点検」と「生徒会アンケート」に基づいた「生徒と先生で共に創る授業」の実践を推進する。「生徒と先生で共に創る授業」の推進。
- 問題解決的な展開の授業の実践。自分の考えを持ったり、お互いの考えを比較したりしたことを表現する。
- 家庭での生活時間を改善し、家庭学習の習慣を定着させる。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課			
計画内容及び 主要な施策	健やかな体を育む教育の推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
体力・運動能力調査 小学生 全国平均以上の割合	57.3%	%	%	%	%	50% 以上
評価	A					
【説明等】 令和3年度は、2年ぶりの調査となり、コロナ禍における児童の運動習慣の低下が予想される中での実施となった。結果は、大分県全体の成績は全国でも男子が1位、女子が2位となっている。津久見市でも半数以上の種目で全国平均を上回ることができた。						

2. 課題等（令和3年度 体力運動能力等調査・令和3年度 各校体力向上プランより）

○児童生徒・学校質問紙調査結果 (全国比 「+」=◎ 「-」=▲)

小学生(5年)	男子	女子
運動が好き	84.5% ◎	46.6% ▲
体育の授業楽しい	77.2% ◎	55.2% ▲
朝食を毎日食べる	75.9% ▲	81.0% ▲

○体力の状況についての課題

- これまで課題としてあがっていた「握力」「反復横とび」「50m走」は結果の向上が見られるが、「上体起こし」「立ち幅跳び」は今後も取組が必要である。
- 「シャトルラン」については成績が下降傾向にある。コロナ禍において持久力の低下が懸念される。
- コロナ禍において、活動内容に制限がある単元があるが、体育の授業に工夫を凝らして日々の活動に広めるなど、組織的な授業改善・運動習慣の確立に向けた取組が必要である。
- 朝食摂取率も低く、合わせて就寝時刻の遅い児童が増加している。

3. 取組状況等

○体育専科教員を活用した、授業改善及び授業力向上とともに、学習内容の日常化を図る。

○子ども同士の学びの場（見合い、教え合い等）を設定するなどの運動意欲の向上を図る授業づくりや、ICT機器を活用し、「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。

○運動の日常化を図るための行間体育の実施や、体育集会・リレー大会・全校縦割り班活動、児童会と連携した児童がつくる活動や行事など学校独自の取組を推進。

○「生活見直しカード」などを活用し、保護者と連携しながら生活リズムの改善を図る。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	健やかな体を育む教育の推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
体力・運動能力調査 中学生 全国平均以上の割合	54.2%	%	%	%	%	50% 以上
評価	A					
【説明等】 令和3年度は、2年ぶりの調査となり、コロナ禍における児童の運動習慣の低下が予想される中での実施となった。結果は、大分県全体の成績は全国でも上位に位置付けられる成績を残すことができた。津久見市でも半数以上の種目で全国平均を上回ることができた。						

2. 課題等（令和3年度 体力運動能力等調査・令和3年度 各校体力向上プランより）

○児童生徒・学校質問紙調査結果 (全国比 「+」=◎ 「-」=▲)

中学生(2年)	男子	女子
運動が好き	65.0% ◎	33.3% ▲
体育の授業楽しい	46.7% ▲	31.4% ▲
朝食を毎日食べる	71.7% ▲	76.5% ◎

○体力の状況についての課題

- ・種目によって得意・不得意がはっきり分かれている。「握力」「上体起こし」「50m走」「ボール投げ」は全学年・男女とも全国平均を上回っている。逆に「長座体前屈」「反復横跳び」「シャトルラン」「立ち幅跳び」は、ほぼ全校平均を下回っている。
- ・部活動や社会体育は盛んであるため、運動能力の高い生徒が多いが、運動習慣が定着していない生徒との差が広がっている。
- ・各種目、各領域においてバランスの取れた指導や運動経験が必要である。
- ・睡眠はとれているが、朝きつい状況にある者も多く、朝ご飯を毎日きちんと食べていない生徒が増えてきている。

3. 取組状況等

○体力向上「推進教員・体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進。

○運動部活動との連携による、日常的な運動習慣の構築と、運動部活動に加入していない生徒へのアプローチ。体育の授業を通して運動を楽しむ態度と生涯スポーツへの意欲化を図る。

○学校行事や生徒会行事と連携した運動好きな生徒を育てる取組や、ICT機器を活用しながら「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。

○規則正しい生活習慣の構築。(食事・運動・睡眠)

➡津久見市健康推進課からゲストティーチャーを招いたスクールヘルスアップ事業の継承

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	豊かな心を育む教育の推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
人権・部落差別解消推進に係 る研修会の開催回数	2回	回	回	回	回	5回
評価	D					
【説明等】 研修会はコロナウイルスの影響で計画通りの開催が困難だった。形を変えての研修などを実施するように工夫した。						

2. 課題等

- 校内研修での時間の確保。(各種研修会参加者の校内研修での還流、講師派遣研修等の実施。各関係機関と連携した研修の実施など)
- 部落問題学習についての認識と実践不足。
- 仲間づくりや学級づくりについて、若手教員のスキルアップ。(ベテラン教諭から若手教職員へのスキルや知識の伝承)
- 家庭・地域と連携した人権・同和教育の推進が必要。

3. 取組状況等

- 人権・同和教育研修会開催を計画的に実施するとともに、その充実を図る。
 - ◆人権教育担当者会・・・・・・・・・・実施できず
 - △管理職研修1回・・・・・・・・・・実施できず
 - ◆人権同和教育研究会夏期講演会・・・8月 5日(木) 講師：時枝武敏 氏
 - ◆人権同和教育研究会研究大会・・・・1回(R4年1月20日)
- 若手教員研修、スキルアップ研修を計画したが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。そのため、資料配布などを行い、各自での研修を計画した。
- ハイパーQU(学級集団等適応検査)を活用した学級集団づくり。(活用研修会を年2回開催)
- 校内児童生徒支援委員会の開催と充実と「人間関係づくりプログラム」を定期的な実施。
- 専門スタッフと連携した一人ひとりの困りに応じた支援の推進。またそのための定期的な情報交換会の実施。
- 県教育委員会人権・部落差別解消推進課指導主事を招聘し、授業改善を実施。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	地域とともにある学校づくり					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
学校・家庭・地域の「協働」に 取り組む学校数	6/8校	校	校	校	校	7/7校
評価	B					
【説明等】 各校で、地域と連携した特色ある取組が展開できている。						

2. 課題等

- 学校評価の結果をどのように分析し、どのように活用・発展させていくかに課題が残る。
さらに、課題解決に向けて、学校と家庭・地域とが連携して、どのように取組を進めていくかについても、まだまだ十分に取り組めていない。
- 家庭・地域に主体性を持たせた取組までには至っていない。
- 中学校における家庭・地域との協働と地域人材の活用。

3. 取組状況等

- 学校・家庭・地域の「協働」の柱である「学校運営協議会」の開催（年間3～4回）
- 家庭・地域と連携した各種行事については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できていない行事が多い。
- 地域人材や専門機関と連携した授業実践（総合的な学習の時間を中心に）についても、規模を縮小したり形を変えたりしながらの実施となっている。
- 地域人材の活用を推進するための地域人材の発掘・育成。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
計画内容及び 主要な施策	地域とともにある学校づくり					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
市内中学生の津久見高校への 進学率	33.9%	%	%	%	%	50%
評価	C					
【説明等】 令和3年度は、市外の公立・私立高校に進学を希望する生徒が増えた。						

2. 課題等

- 生徒数の減少による津久見高校定員の維持・確保の難しさ。
- 津久見高校の魅力ある学校づくりの実践を広く小中学生や保護者に伝えていく必要がある。
- 進学実績、部活動の活動実績の向上、啓発。

3. 取組状況等

- 津久見高校地域振興協議会での各種取組の実施。
(①人材育成 ②小中高連携 ③情報発信 ④硬式野球部強化 の 各種事業)
- 市内の小学校や中学校と、各種行事等での交流。
(給食メニューの開発、英検講座の開設、「つくみ蔵」の出店など)
- 津久見高校の英語科教員による、中学生への「英検チャレンジ」は、会場を津久見高校に変更し、実施した。中学生にとって津久見高校を見学する機会にもなった。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-5-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	管理課		
計画内容及び 主要な施策	教育環境の整備					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
学校施設の計画的整備	0校	校	校	校	校	1校
評価	E					
【説明等】 令和3年3月に策定した学校施設長寿命化計画に基づき学校施設の老朽化の状況等を把握し、学校施設の計画的な整備を行う。						

2. 課題等

○小中学校長寿命化改良事業
 これまでの学校施設の現状は、安全・安心な教育環境を確保するために耐震化を最優先に進めてきましたが、その一方で、昭和50年代に建築された学校施設の老朽化が進んでいる。学校施設の大規模改修等に多額の予算が必要であり、交付金や地方債等の財源確保も重要である。
 津久見市公共施設等総合管理計画及び定期点検の結果等を踏まえながら計画的・効率的に事業を実施していく必要がある。
 ・第一中学校（昭和55年建築）
 ・津久見小学校（昭和50年・昭和61年建築）
 ・千怒小学校（昭和53年・昭和63年建築）

3. 取組状況等

○中学校校舎等長寿命化改良事業
 令和6年4月の新設中学校開校に向けた、第一中学校校舎等長寿命化改良事業の設計業務を進めている。
 ○小学校校舎長寿命化改良事業
 津久見小学校・千怒小学校の校舎改修については、一斉に対応することは困難であるが、計画的・効率的に改修工事ができるよう、国の交付金や地方債等の財源確保を含め市長部局と協議を進めていく。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-5-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	学校教育の充実		担当課	管理課		
計画内容及び 主要な施策	教育環境の整備					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
ICT（情報通信技術）支援 員の派遣	各校 月2回	回	回	回	回	各校 月2回
評価	A					
【説明等】 教員のICT機器の活用スキルの向上及びICT機器を最大限に活用した授業の推進を図る。						

2. 課題等

○ICT教育の充実

GIGAスクール構想の推進により1人1台のタブレットと校内LANが整備され、ICTを活用した情報教育が令和3年度から始まった。ICT（情報通信技術）支援員を派遣し、ICT機器を活用した授業の支援やICT機器の効果的な活用を図るための教員へのサポート対応などを行っている。

3. 取組状況等

○ICT（情報通信技術）支援員の派遣

ICT（情報通信技術）支援員は、各学校に毎月2回の派遣を行った。活動は、月ごとに提出される報告書により、各学校での業務内容の確認を行った。

管理課、学校教育課と定期的に業務内容等の検討を行い、授業においてICT機器が効果的に活用できるよう進めるとともに、訪問時の支援の充実を図るため、教員との事前の打合せや連携等を密に行っている。

○ICTプロジェクト会議の開催

令和3年度は、6回会議を開催し、教員の研修や有効な活用に向けた課題などの情報共有、協議・検討を行い、教員のICT活用指導力の向上やタブレットの効果的な活用に繋げている。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	社会教育の充実			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主要な施策	学習機会の創出					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
公民館利用状況	926回	回	回	回	回	1,490回
評価	C					
【説明等】 大ホール、講義室、研修室、調理室、和室の利用回数						

2. 課題等

公民館は昭和50年に建設され、建物の老朽化が進んでいる状況。
多くの教室が2階の大ホールであり、階段しかないために高齢者や障がい者の方に不便をかけている現状である。
駐車場については狭く、多くの台数が止められない。公民館まつり等大きなイベント時には、近隣の企業に協力をいただき対応はしているが、駐車場の確保が課題である。
市内の人口減少や高齢化も進行している中で、公民館の利用者に高齢者が多く、各団体の活動が低迷しつつあり、公民館の利用数が伸びない原因の一つとなっていると考えられる。

3. 取組状況等

感染状況等により中止とした事業等もあったが、人数制限を行い感染症対策の徹底を実施することで、新型コロナウイルスの影響が続く状況下でも大半の事業は実施することができた。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	社会教育の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	学習機会の創出					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
公民館教室数	9 教室	教室	教室	教室	教室	15 教室
評価	C					
【説明等】 女性・成人・その他を対象とした、各公民館教室数						

2. 課題等

高齢者教室等人数が多い教室は、2階大ホールの使用となり階段しかないために、高齢者や障がい者の方に不便をかけている。

子どもから高齢者まで、利用者の声を聞いて、各教室の開催を心掛けているが、なかなか教室の幅が広がっていない。(開催時間・開催内容の検討が必要)

教室を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。

3. 取組状況等

令和3年度

わくわく料理教室 俺の料理教室 糸紡ぎ糸あそび教室 パッチワーク教室

お菓子づくり教室 竹工芸教室 初心者のパン教室

短期で開催している教室（作ってみよう懐かしい給食メニュー教室（高校生）、親子押し花教室）は開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった教室もあった。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	社会教育の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	市民に愛される図書館づくり					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
蔵書貸出人数	36人	人	人	人	人	50人
評価	C					
【説明等】 1日当たりの貸出冊数（1日当たりの貸出利用者数）						

2. 課題等

図書館資料の年間貸出冊数や貸出利用者数は、年々減少傾向にある。市の人口減少や情報メディアの急速な普及による環境の変化等に加え、近年では新型コロナウイルス感染症の状況もその要因と考えられる。このように社会が変化する中、時間や場所を問わず利用できる電子図書館やインターネット予約サービスの周知・活用促進を図り、図書館や本に興味をもってもらえるような企画や読書イベントの開催、積極的な情報発信など、魅力ある図書館づくりに取り組む必要がある。

3. 取組状況等

- 祝日開館の試行
- 定例行事・企画展示等：おはなし会、アニメ上映会、新刊・企画展示コーナー、玄関ホールの展示活用、就労情報の掲示
- こどもの読書週間・秋の読書週間関連行事
- 雑誌と本の無料配布
- 電子図書館サービス：電子書籍の購入・貸出
- 移動図書館車の運行：月12日（市内⑥コース51カ所）
- 移動図書館車の更新：令和4年度から新車両での運行開始
- 保戸島出張所内図書業務：月1回訪問、資料入替え250冊（年4回）
- 県内公共図書館、市内各学校との連携：相互貸借の活用、市内各学校への団体貸出
- 広報活動：図書館だより・こどもしつだより、市報、図書館ホームページ、チラシ配布

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	社会教育の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	学术交流活動の推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
地質資源の講演回数	5回	回	回	回	回	10回
評価	C					
【説明等】 津久見の地質等に関する講演会等、学習機会の提供						

2. 課題等

津久見市には広大な石灰石鉱山を始め、長目の蛇紋岩や四浦の珪石・マンガンなど、多種にわたる鉱物や地質が点在しており、「網代島の宇宙塵」や「江ノ浦の隕石衝突の痕跡」等、世界的にも非常に貴重な地質資源もある。津久見市独自の魅力ある地質資源を教育に取り入れる一方で、地元地区と協力して周辺地域の環境の保全に努めるとともに、地球資源活用事業を推進して市内外に向けて情報発信をしていくことが今後の課題である。

3. 取組状況等

市内の小・中・高等学校等からの依頼に応じて、市内の地質資源に関する出前授業や現地案内を行った。
また、網代島に関する取組として、第2回網代島フォトコンテストの開催やパンフレットの増刷等を行った。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	生涯スポーツ・レクリエーションの推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
総合型地域スポーツクラブ参加人数	202人	人	人	人	人	250人
評価	B					
【説明等】 総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」参加人数						

2. 課題等

総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」が各スポーツ教室やイベント事業を通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核として市内全域で展開されることをめざし、地域住民の日常的なスポーツ活動の場づくりを推進することが必要である。

また、「エンジョイつくみ」が地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、さらなる育成とその活動の充実を図ることが必要となる。

なお、スポーツの習慣化・健康増進・介護予防等を図るため福祉・保健部門との連携が必要となる。

3. 取組状況等

令和3年度は、15種目を開催し、延べ9,293人の参加があった。新型コロナウイルスの影響もありながら昨年度より参加人数は微増となった。

津久見市ホームページにおいて、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」の会員募集を広報し支援を行っているが、今後も継続して行いたい。

平成27年5月から始まった「おはよう！つくみん体操」も累計975日、延べ25,938人の市民参加となっている。（令和4年3月末日現在）

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	競技スポーツの強化推進					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
施設利用件数	5,145 件	件	件	件	件	5,200 件
評価	B					
【説明等】 総合運動公園内の各施設、武道館、市内3グラウンドの利用件数						

2. 課題等

老朽化が進んだ既存施設については、市民の声を反映し緊急性や重要性を勘案しながら計画的に改修整備を進め、利便性の向上を図る必要がある。

競技スポーツの強化については、津久見市スポーツ協会に加盟する競技団体がそれぞれ競技力・技術力を競う県民スポーツ大会や各種大会に出場し、地域スポーツの振興と発展に寄与するとともに、多様な交流の機会を創出している。また、国民体育大会を始めとする全国のレベルで本市出身の選手やチームが活躍できるよう指導体制の整備を図り、競技力の向上、選手の育成に努めトップレベル競技者の育成を推進するためスポーツ協会と加盟する競技団体とが連携強化を図る必要がある。

3. 取組状況等

施設利用件数については、コロナ禍の中ではあったが、昨年度より微増しています。また、スポーツ・レクリエーション活動やスポーツ少年団活動については、コロナ感染拡大防止の観点から、各種スポーツイベント等が中止となりました。

施設整備については、総合運動公園駐車場補修工事・市民野球場の屋根改修工事・サニーホールの雨漏り補修工事等を行いました。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	青少年の健全育成		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	健全な家庭環境づくり					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
非行少年等の補導件数	0件	件	件	件	件	0件
評価	A					
【説明等】 津久見市在住の青少年が補導された数						

2. 課題等

津久見市青少年健全育成市民会議を中心に、青少年に関わる大人の意識醸成や地域ぐるみで青少年を見守るための環境づくりを進め、非行少年等の補導件数ゼロを目指していく。

また、近年ではスマートフォンやSNSの急速な普及によってインターネット利用環境が一層多様化し、青少年が有害な情報に簡単に触れうる機会も増えている。また、県下ではインターネットを介して見知らぬ他人との接触機会が生じた結果、自画撮り被害などのトラブルや犯罪に巻き込まれてしまうケースも出てきている。こうしたネットトラブルやそれに起因する犯罪から青少年を守るためにも、学校・家庭・地域が連携し、インターネットの正しい使い方や通信機器の使用上のルールを呼びかけて徹底するなど、常日頃からの啓発が重要である。

3. 取組状況等

1. イベント時の見守り活動

各学校のPTAや生徒指導担当教員、幹部交番が見守り活動を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となった。

2. 津久見市青少年健全育成市民会議総会

地域で青少年を見守るための取り組みについて、市内の青少年関係団体と確認を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となった。

3. 子どもの安全を考える市民講演会

開催日：令和3年11月29日（月）

演題：「子どもの虐待防止について」

講師：大分県福祉保健部こども・家庭支援課 子ども家庭支援班 吉津 聡 氏

参加者：29名

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	青少年の健全育成			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主要な施策	学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
子ども連絡所設置箇所数	304 か所	か所	か所	か所	か所	330 か所
評価	B					
【説明等】 子どもが困った時にいつでも助けてくれる家庭や店舗・施設等の数						

2. 課題等

地域のどの場所に子ども連絡所があるのかについて、周知の幅を広げて子ども・大人双方に存在を広く浸透させる必要がある。また、子どもが地域でのびのびと育っていけるよう、関係各所と連携して、子ども連絡所として協力していただける家庭や事業所を増やしていくことが必要である。

3. 取組状況等

津久見市防犯暴力絶滅対策協議会・津久見市連合PTA・津久見市青少年健全育成市民会議・臼杵津久見警察署が連携して取り組んでいる。

○令和3年度の子ども連絡所箇所数（内訳）

- ・第一中学校区…154カ所（津久見小、千怒小、第一中）
- ・第二中学校区…142カ所（堅徳小、青江小）
- ・離島…8カ所（＝保戸島小、保戸島中）

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	青少年の健全育成		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
土曜寺子屋つくみ塾参加人数	18人	人	人	人	人	100人
評価	E					
【説明等】 子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指して地域ぐるみで取り組むもの						

2. 課題等

例年であれば5月開講となるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和3年度は9月からの実施となった。その影響もあってか参加児童数も少なく、休止となった学校もあった。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、今後も動向を注視しながら予防対策を講じ、子どもたちや講師が安心して参加できる環境を整え、参加者を増やしていく必要がある。

3. 取組状況等

対 象：津久見市内の各小学校の3～6年生
 実 施 数：通常の学習支援活動は4回実施（新型コロナウイルス感染症対策により2回中止。
 漢字検定・算数検定試験も中止）
 実 施 日：原則第3土曜日の10：00～12：00
 内 容：漢字検定・算数検定のチャレンジに向けた学習
 場 所：市内小学校3校（堅徳・津久見・千怒）※青江は参加者がいなかったため休止
 講 師：地域ボランティア
 体験学習：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-③

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主要な施策	青少年の見守り活動の充実						
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値	
あいさつ運動の実施回数	月1回 8月を除く	回	回	回	回	月1回	
評価	A						
【説明等】 学校・家庭・地域の連携による青少年の見守り活動							

2. 課題等

地域社会における青少年の健全育成活動推進のため、青少年健全育成推進協議会へ補助金を交付し、相談体制や啓発活動の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携し、青少年の見守り活動を行っている。

今後も児童生徒の登下校時の安全を確保するための見守りやあいさつ・声かけ運動、青少年の非行防止に向けた相談体制・啓発活動の充実を図るとともに、関係機関や学校、家庭が連携・協同を図り、青少年の健全育成に努めていく必要がある。

3. 取組状況等

毎月第3金曜日（8月を除く）に、市内20箇所において、市内各学校の校長や教頭、教員、生徒、PTA等の各委員、区長等を中心にあいさつ運動を実施した。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-①

1. 施策指標の進捗状況

施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	市民の文化・芸術活動の支援					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
観劇会イベント参加者数	488人	人	人	人	人	1,200人
評価	D					
【説明等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も「川野夏美コンサート」の1事業のみの開催であった。年間を通しての入場者数は昼夜2回公演であったため、昨年度より増加。						

2. 課題等

これまでどおりの安価な料金で会員のニーズに合った催し物の選定が求められる一方で、決算時には赤字にならないような料金設定も考える必要がある。また、魅力的な事業を提供することで新規会員の確保を目指していくことも重要である。

3. 取組状況等

○「川野夏美コンサート」
 令和3年11月21日（日） 昼14:00～ 夜18:00～ 市民会館大ホール
 入場者数 昼298名 夜190名
 入場料 3,000円（全席指定）
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観客席を半数に設定

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	市民の文化・芸術活動の支援					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
市民会館利用状況	1,369件	件	件	件	件	1,600件
評価	B					
【説明等】 会議室やホール等、会館の利用件数						

2. 課題等

令和3年度については、人数制限を行うなど感染拡大防止ガイドラインを遵守しながら、貸館業務を実施した。

今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、施設利用者が少しでも安心して利用できるための対策をより一層講じていくことで、貸館業務を継続していく予定である。

また、市民会館は数年前に大規模改修を行い、エレベーター・トイレ・駐車場等が利用しやすくなったものの、改修をしなかった箇所等の修繕が多くなってきている。

3. 取組状況等

平成30年度から文化協会加盟団体等に対して使用料減免制度を設け、利用者が利用しやすい会館づくりに努めている。

新型コロナウイルス感染症対策として、利用者が検温するための検温サーマルカメラの設置等を行っている。

令和3年度では、新型コロナウイルス感染症対策として、会議室に抗ウイルス・抗菌機能がある塗料を使用した壁紙塗装改修工事の実施、感染症対策の啓発を目的としたサイネージの設置、web会議の環境整備を目的としたテレビモニターの設置等を行うことで、市民が安心・安全に利用できる環境づくりを行った。

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	伝統文化及び文化財の保存と継承					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
文化団体数	26 団体	団体	団体	団体	団体	32 団体
評価	B					
【説明等】 市文化協会加盟団体数						

2. 課題等

人口減少に伴い、会員の高齢化と若年層の団体活動が希薄になっており、会員の減少が進んでいる。
活動のPRや広報を通して、個人・団体会員の拡大と、新たな分野の芸術文化活動の充実や「青少年、次世代の支援」と文化に触れる機会の提供などが必要。

3. 取組状況等

令和2年に創立50周年を迎え、予定していた50周年文化祭がコロナの影響で会員発表会となったため、令和3年度に50周年文化祭を実施。
コロナ禍の中、各団体も活動自粛を余儀なくされ、最小限の活動となり、市内外で延べ5団体の活動が報告されている。(総会資料 事業活動実績から)

令和3年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実		担当課	生涯学習課		
計画内容及び 主要な施策	文化施設の有効活用					
施策指標の名称	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R7 目標値
指定文化財	36件	件	件	件	件	40件
評価	B					
【説明等】 「堅徳小学校青い目の人形（人形名：メリー）」を津久見市指定有形文化財に指定。						

2. 課題等

文化財については、ひとつの文化財を単独で捉えるだけでなく、歴史・民族・自然などを地域の中で位置づけ、総合的なものの中で見ていくことが重要視されており、これまで地域の文化財マップ等を設置してきた。今後も地域の文化財や自然を総合的に捉える取組を継続していくことが重要。また、少子化や高齢化、社会環境・生活環境の変化で価値観が希薄になり、維持、保護が困難になりつつあるため、指定文化財を中心として管内の文化財の現状を把握し、保護に努めることが重要。

伝統芸能については、少子高齢化の進展に伴った後継者不足により保持団体の維持が困難になっているので、後継者の育成が重要課題。また、用具や衣装等の購入のための資金調達のむずかしさもうかがえるため、保持団体と協議しながら順次助成に向けた取組を継続していくことが重要。

3. 取組状況等

文化財	指定文化財の維持管理作業等 (尾崎小ミカン先祖木維持管理作業、姥目のウバメガシの宿り木除去治療、大友宗麟公墓の植栽剪定作業、千怒新地ウバメガシの剪定作業等)
伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」に堅浦古典芸能保存会神楽部が採択。 文化庁 令和2年度第三次補正予算事業「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業」に津久見扇子踊り保存会が採択。 文化庁 令和3年度第一次補正予算事業「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業」に津久見扇子踊り保存会が申請し、採択されている。 文化庁 令和3年度補正予算事業「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」に堅浦地区の伝統文化を活用した地域活性化事業実行委員会が申請し、採択されている。